

2015年5月号(第63号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会  
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町167-25  
T E L：045-866-8434  
F A X：045-862-5890  
E-mail：info@totsukashakyo.com

# 社協とつか

## 高齢者が安心して暮らしていくために 地域で見守りましょう!

戸塚区では高齢者などが安心して暮らし続けられるよう、地域の方や民間事業者などによる「みまもりネット」や、戸塚区社会福祉協議会の事業で、特に個別の見守りが必要な方に対して民生委員や友愛活動員等が「声かけ見守り」を中心とした定期的な訪問を行う「戸塚区地域ネットワーク訪問事業」があります。

ここでは2つの地区の取り組みについて紹介します。



### 【踊場地区】

#### 見守り活動の取り組み ～きっかけは地区連絡会から～

踊場地区では、民生委員、友愛活動員が協力して見守り活動を行っています。

ネットワーク訪問事業代表者は見守り活動を推進していくための環境を整えるために、約1年間かけて協力団体への事業の説明やアンケート調査、訪問員交流会などを行いました。9月と2月に行われた交流会では、約50名の訪問員が自分たちの地区の見守り活動について、熱く語っていました。そこでは、普段行われている地域活動が見守りにつながっていることを再認識したり、今後の地区での見守り活動についての情報共有を行いました。

### 【名瀬地区】

#### 市営名瀬第二住宅自治会の 「見える化」マップの活用について

毎月1回開催している民生委員、友愛活動員、保健活動推進員による連絡会では、見守り対象者に関する様々な情報が、メモを残すのに必死なほど飛び交いました。

住宅地図とビニールシート、付箋、カラーシール等を活用した「見える化マップ」に情報を落とし込むことによって、見守り対象者の最新情報や見守り活動の状況をきちんと把握することができるようになり、活動の効率化につながりました。

今後はこのマップを活用して新たな地域活動への展開や課題解決につなげていきたいと思えます。



見える化マップのつくり方：パネルに貼った住宅地図にビニールシートを被せ、情報別に色分けしたシールを貼ります。必要に応じてビニールシートを増やしたり、重ねたりすることで、対象者が抱える課題を目で見えてわかるようになります。

## 地域の活動紹介コーナー（下倉田地区）



### モミーちゃん と守り備えるフェスティバル

2月15日(日)に町内の方々がイベントを通じて、下倉田地域の団体や、自治会町内会の活動を知ること、担い手確保に寄与することを目的に「モミーちゃんと守り備えるフェスティバル」が開催されました。

当日は春になったばかりの晴れた空で、朝早くから準備で賑わいました。

校庭では消防車、ミニパト・青パトの展示、防犯のお話、煙体験の他、スポーツ推進委員

による外遊びや豚汁・甘酒・おむすびの振舞い等がありました。

校庭と体育館をつないでのスタンプラリー。体育館の舞台では、キッズチアやバトン演技、県警の防犯劇に笑いヨガ、認知症予防体操等。最後はスタンプラリーの抽選会など盛りだくさんの内容でした。体育館内の自治会町内会のパネル展示、各種委員による綿菓子やポップコーンの販売、日赤や民生委員・児童委員、家庭防災員や消費生活推進員のブース展示等もありました。下倉田の連合、各種委員にケアプラザ・区役所（ウナシーも来た！）・豊田中学校の協力とパワーで、いつもの防災訓練とは違った形のフェスティバルになり、大人から子供まで350人が集まり大成功でした。



〔「モミーちゃん」は下倉田ハートプランのマスコットキャラクターです〕

## 第2回戸塚区集合住宅団地つながる連絡会が開催されました！

今回は、前回出された生活課題の中でも最も関心の高かった「役員・担い手・活動者」をテーマに話し合いました。参加者からは「住民の高齢化」「転入転出が多い」「住民同士の関係性が希薄」「負担感が大きい」など様々な原因があげられ、その原因を分析し、既に対策を打ち出している自治会町内会の中には、役員などの就任にポイント制を導入（例えば、重要な役割を担う場合には高ポイント、ポイントの少ない人へ就任依頼）したり、本格的な地域活動に入る前にサポーターとして活動に関わる場を設ける等、実情にあった取り組みを行っている報告もありました。



### 【参加者の感想】

「高齢化を理由に輪番制の役員も断られる」「仕事が多くボランティア精神以上の気持ちがないとできない」という声があがっていました。一方で、輪番制でも正当な理由（高齢、疾病等）がある場合には役員を免除しているが、会員資格は維持し繋がりは保つようになっているという集合住宅もありました。

共同住宅居住者として、最低限のご近所との関わりの必要性を繰り返し話していき、活動に協力してもらえ環境を作っていくことが重要なのだと思います。

開催日：平成27年 **2月24日(火)** 13:30～16:00

参加者数：42名

参加者：自治会町内会関係者、民生委員・児童委員、地区社協、ボランティア団体等

### 【戸塚区集合住宅団地つながる連絡会とは】

全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる近年、戸建住宅や集合住宅団地にかかわらず、様々な生活課題が発生しています。そんな生活のお困りごとを乗り越えるために、集合住宅団地という住宅形態の利点を生かした解決方法を、一緒に考えていくことを目的に発足した連絡会です。

## 戸塚の福祉人材について

戸塚区社会福祉協議会には社会福祉施設等の会員が集まった「専門機関部会」があります。

専門機関部会では福祉人材確保のための事業として、昨年度「福祉のしごとフェア」を2回開催しました。その取り組みについて、代表の特別養護老人ホーム松みどりホームの小倉徹施設長にお話を伺いました。

また、松みどり保育所で保育士として働いている杉本祐美さんに「福祉のしごと」についてお話を伺いました。

### 特別養護老人ホーム 松みどりホーム施設長 おぐら とおる 小倉 徹さん

平成27年2月23日(月)、男女共同参画センター横浜のホールにおいて、今年度2回目の「わかる！みつかる！福祉のしごとフェア」を開催しました。



今、戸塚においても福祉の現場で深刻な人材不足問題が起こっています。会員からの要望が多数あり、「戸塚の福祉は戸塚で」、「地域の福祉は地域で」をコンセプトに、高齢、障がい、保育分野の12事業所が各ブースに分かれて就職相談を行いました。



今回、スペースの関係から参加できなかった事業所もあり、今後、年2回の開催をしたいと考えております。当日は地域の方等125名の来場者があり、各ブースで熱心にお話されていました。また、今回も各分野別に福祉の仕事についてスライド等を使って説明する時間を設けて、来場された方々に福祉の仕事の楽しさや、やりがいを、働いている生の声でわかりやすく説明できたと思います。

今後も「わかる！みつかる！福祉のしごとフェア」が身近な地域の福祉活動を知っていただく場、さらに身近な地域の福祉のネットワークがあることを知っていただく場として、地域の方々にアピールしていきたいと思えます。

### 松みどり保育所 保育士 すぎもと ゆみ 杉本 祐美さん

#### 私が保育士になった理由とその魅力について

私が保育士になろうとした大きな理由は、とても単純ですが子どもが好きだからです。元々学生の頃から近所の子や親戚の子と関わる機会があり、小さい子と遊んでいる中で、その楽しさを感じ、将来は子どもと関わる職に就きたいと考えるようになりました。

いざ保育士になってみると、もちろん子どもと関わるだけではなく、子どもたちが安全に生活できるような環境整備や、地域との交流や保護者支援等、子どもを取り囲む全てのものに対して関わりがあり、仕事は多方面に及びます。

でも、だからこそそれがやりがいにもつながっていますし、人と関わる楽しさをより深いものにしてれています。そして何より、同じ日が1日たりともないということが大きな魅力です。同じ保育をしても子どもの反応は一人一人違いますし、日々変わっていきます。少しずつ成長していく姿や、子どもたちの楽しそうな笑顔、ふとした言動など、思わず笑顔になってしまうエピソードが毎日あります。私の妊娠中の話ですが、年長組の子どもたちがお腹に話しかけてくれたり、赤ちゃんの名前を真剣に考えてくれたり…。

子どもたちの優しさに触れると同時に、こんなにも色々と考えてくれるのだなと驚きを感じました。このように、日常生活の中に様々な喜びがたくさんあり、何年仕事をしていても新しい発見があり、常に新鮮な気持ちでいられることが今まで保育士を続けてこられた一番の理由です。人とのつながりを感じられるこの仕事が、私は大好きです。



編集  
後記

4年目を迎えた東日本大震災の教訓から地域での「見守り」活動の大切さを深く学びました。そのためにも単位町内会や自治会などで解決すべき課題がたくさん見えています。「見守り」「つながり」という永遠の課題に真剣な取り組みがいま区民の間で進められています。安心、安全な暮らしを求めること、それが社会福祉のこころではないでしょうか。 編集長 天沼次郎



# ボランティア情報

2015年5月発行

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会とつかボランティアセンター

何かしたい！  
そうだ！  
ボランティア  
をしよう！

## ステップ1

### まずは「ボランティアのいろは」に参加しよう。

ボランティアに関心のある方は、ぜひボランティアのいろは（入門講座）に参加しましょう。講座では、「助け上手・助けられ上手」カードを使った疑似体験を行うほか、ミニ講義でボランティア活動に関する基礎知識を学びます。

開催：毎月10日 10：00～12：00

会場：偶数月 とつかボランティアセンター（電話：866-8483）

奇数月 とつか区民活動センター（電話：825-6773）

申込み：開催日の前日までに、各会場に直接お電話にてお申し込みください。

## ステップ2

### ボランティアセンターに登録しよう

活動を始める前には登録が必要になります。窓口にてボランティアコーディネーター（専門相談員）が、みなさんのご希望にあった活動先をご紹介します。



## ステップ3

### さあ、ボランティア活動をしよう

活動先が決まったら、まずは見学に行きます。活動先のボランティア担当者から活動についての説明があります。（活動先によっては、対応が異なる場合があります）見学後、お互いが同意すると活動が始まります。

## とつかボランティアセンターのご案内

### ● ボランティア相談窓口

（戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階）

月曜～土曜日 9：00～17：00

※日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く

TEL：045（866）8483

FAX：045（862）5890

E-mail：volunteer@totsukashakyo.com

